



第11号

# ほほえみ

鎌ヶ谷市男女共同参画情報誌



**男女共同参画とは…?**  
「男性だから」・「女性だから」という固定化された意識や考え方にとらわれず、個人の意思によってあらゆる分野で活躍できる社会にしようという考え方です。

## 特別インタビュー あこがれの車両整備士になって 北総鉄道(株)車両課 末田 優希さん



【今回は北総鉄道さんの協力でご訪問した、印旛車両基地に女性車両整備士さんをお訪ねしました。】  
今までは「男性」のイメージが強い車両整備士さんというイメージが強いですが、今回、北総鉄道車両課で初の女性整備士さんになりました。末田さんに、お仕事のご苦労や良かった事などをお聞きました。



平成26年3月に、工業高校の電気科を卒業して北総鉄道車両課に配属されました。末田さん、高校の電気科では女性一人だったのですが、将来整備士になりたいという夢があり、何とか3年間休まずに通うことができました。と言いますのも、私の父が航空整備士が勉強勉強です。少し困っている事は、男性に比べて身長が低いので、高い場所での整備には脚立や踏み台が無いと作業が進まないことがよくあります。また、男性に比べて筋力がいまいとつ無いです、ひとつひとつの作業に追いつくのが大変です。でも、皆さんがとても良い方ばかりでいつも助けて頂いています。仕事としては、今は車両下の機器を点検して回っています。



【取材日：平成27年10月8日】  
その父の背中を口頭から見ていて「大変な仕事だなあ」と思う反面、やりがいのある仕事と幼少の頃から思っていました。そんな中、中学生の時に「将来、お父さんと同じように整備士になりたいんだけれど」と父に相談したところ、「大変だぞ」と言われた後、航空や自動車・鉄道など「整備は電気や基本だぞ」と言われました。そんな父の助言をふまえて、高校は工業高校の電気科を選びました。

**編集後記**  
今年度の「ほほえみ」が出来上がりました。編集委員一同、何度も議論を重ねて作り上げての誌面です。んっ?!と思うところもあるかもしれませんが、気軽に読んでいただければ幸いです。

女性車両整備士さんインタビューに同行しました。北総線、都営線、京急線の3車両が儀よくならんで「はいポーズ」でした。「お父さんの家事・育児アンケート」では育メンパパが多くなったな〜とつくづく感じました。 鈴木

ほほえみの編集に関わり、男女共同参画の考え方が少しずつ広まっていくのが感じられました。 右京

ほほえみ編集委員としていろいろなお話を聞く事ができ、とても楽しく編集作業ができました。取材に協力して頂いた皆さま、ありがとうございました。大澤

毎回、パワーアップしていくこの誌面。多くの市民の方に見ていただけたら嬉しいです。 新井

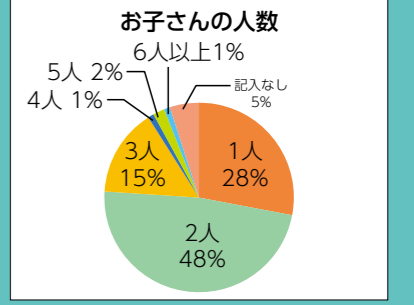
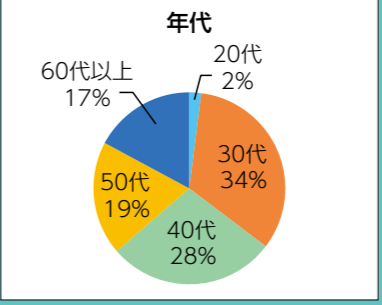
ご意見・ご感想をお寄せください

鎌ヶ谷市男女共同参画推進センター  
鎌ヶ谷市富岡 1-1-3 ショッピングプラザ鎌ヶ谷 3階  
TEL: 047 (401) 0891 / FAX: 047 (401) 0892  
E-mail: danjyo@city.kamagaya.chiba.jp

発行日 平成 28年 3月 31日

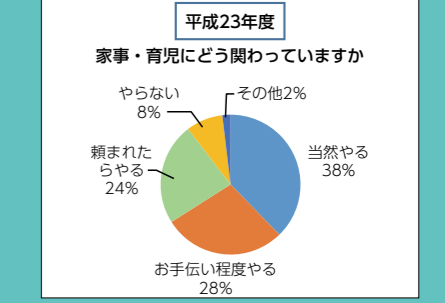
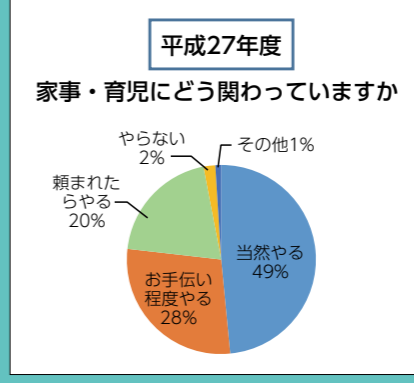
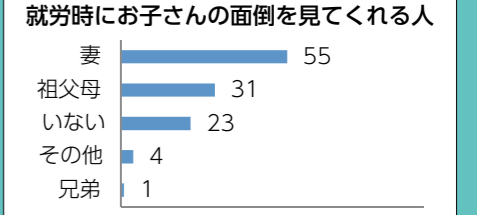
## お父さんの家事・育児アンケート

「ほほえみ」では平成23年度の調査に続き、小さいお子さんを持つお父さんが家事・育児に対して、どれだけ協力しているか、市内在住のお父さん「100人」にアンケートを実施しました。



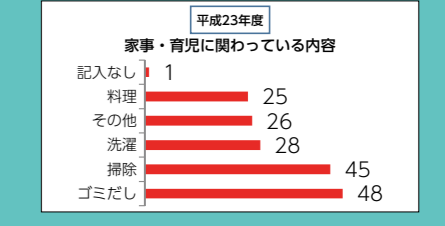
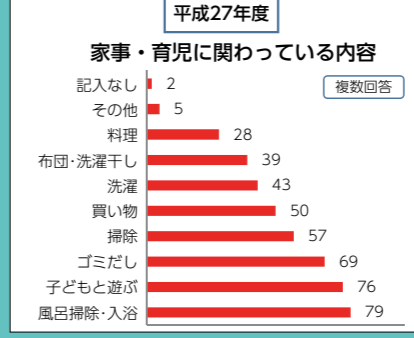
年代別では、前回の調査では約50%の方が40代でしたが、今回の調査では30代・40代の方で60%強のご回答をいただきました。また、50代以上の方は自分のお子さんが小さかった時に協力してたかな?との質問でお答えいただきました。(複数回答)

核家族化が進む中で意外にも祖父母との回答が約30%ありました。



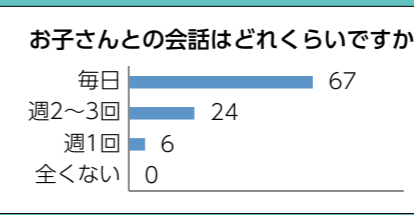
みんなのお父さんはどうかな?

この4年間でお父さんの家事・育児に対する考え方もずいぶん変わってきましたね。



意外とお父さんががんばってるね!

前回に比べ、より広範囲に渡って家事・育児を担っているのが分ります。



70%弱のお父さんがお子さんと毎日会話を楽しんでいるようです。お仕事は大変でしょうけれども、お子さんとの日々のコミュニケーションを大切にしてくださいね!!

親子でどんな話をしているのかな?



【司会】今日は、まだまだ子育て奮闘中の育

メンパパ五人に、子育ての苦労や家族とのコミュニケーションなどの話を中心に、仕事との両立の苦労も含めてざっくばらんに本音を語って頂きます。

奥さんが聞いたら、まずいかなんて話も飛び出しそうですよと楽しみにしています。それではみなさん宜しくお願い致します。まずは、初対面の方もいらっしやると思いますが、自己紹介からお願い致します。

【山中】山中でございます。市役所に勤務して十年目になります。うちは、こどもは一人で今年三歳になります。

【馬渡】東中沢に住んでいる馬渡といいます。鎌ヶ谷に移ってきて、十一年目になります。こどもは一歳半です。歳がいつからのこどもでするので可愛い半面、毎日が大変です。今日は宜しくお願い致します。

【黒】東初富にあります。設備工事の会社の代表をしております。黒と申します。うちは中三の息子を頭に一番下は二歳で五人のこどもがおります。しゃべるのが得意ではな



# 子育てパパの座談会



市内在住のお父さんに子育ての様子や家族とのコミュニケーションのとり方についてざっくばらんに語って頂きました。



目黒 哲さん  
会社経営  
(39歳)  
二男三女の父

いのであまり振らないでください。【豊田】目黒さんと同様、うちも五人のこどもがおり、上が中三二番下が年長さんになります。

【後関】まいご、お世話になっております後関書店でございます。

【司会】ありがとうございます。みなさん、だいたい年齢も同じくらいですね。おそらく、奥さんも同じくらいかな？

【おうちのお手伝いしていますか？】

【黒】幼稚園に通っているのなるべくお迎えは行くようにしています。休みの日は掃除などを積極的に進んでやっていますね。

いた事をこどもたちに話してみると嬉しそうにしてくれます。

【後関】いいなあ。うちは妻とは、あまり会話が無いですが。四六時中、顔を合わせているとそうなのかな。私がいつも家にいるので、こどもたち特に女の子からはちよつと嫌がられているかな。



後関 俊一さん  
自営業  
(39歳)  
一男三女の父

でも、うちは男の子はサッカー、女の子はバレエを習っているの一緒に行くようにして、その送り迎えの中で少しでも会話が出来るようにしています。

【黒】うちも結婚十五年もたつと会話が自然と無くなるというか減ってきましたね。なので、豊田さんの家が羨ましいです。

でも、私も後関さん同様に習い事などには一緒に付いて行ける時には行くようにしていますし、こどもに対してはなるべく褒めてあげるようにしています。



豊田 寛史さん  
会社経営  
(39歳)  
二男三女の父

それから、後関さんの言うように地域のイベントに参加出来るいいですね。自分がそういつタイプでは無かったのですが、仕事で関わるようになり、参加するようになってきました。

【司会】今日は長い時間ありがとうございました。

【馬渡】うちはまだ、一歳半なのでわからないですね。でも嘘をつかない正直な人に育ってほしいです。



馬渡 康太郎さん  
会社員  
(41歳)  
一児の父



なぜかと言うと自分がハウスタスアレルギーなのと妻があまり、掃除のほうがい！【馬渡】妻は専業主婦です。こどもはまだ小さいので仕方ないですね。私の場合は、「ゴミ出し・風呂掃除や、簡単な掃除など休みの日にやるようにしています。【山中】妻も働いているのですが、基本的には妻がこどもの面倒や家事をこなしてくれています。私は食事の後片付け・洗い物程度ですが、日々手伝うようにしています。【司会】奥さんから、洗い直しかかって言われませんか？私の場合、しょつちゆうなのですが。【山中】きびしいですね。妻から洗い直しと言われたことはないです。チエックされているのかどうかかわかりませんが(笑)それと先にも話しましたが、こどもが三歳でちよつちよつ動き回るのでそれぞれどこじやないみたいです。【後関】うちの場合、自営業なので私の親も含めて自主的にやっていますね。私の担当といったら「ゴミ出し位でしょう。【司会】みなさん、意外と奥さん思いで、積極的に参加されている事に驚きました。そうすることに、自信がついてくればと思つたので、それと豊田さんの家とは逆に、夕食を家族で一緒に取るようにしています。そんな時の会話はテレビの話になる事が多いですね。ワイワイガヤガヤしながら時間をかけて食べています(笑)【司会】馬渡さんの所は、まだお子さんが小さいですし、そんな中で奥様との会話とかは大切にされていますか。【馬渡】はい！やはり、育児ノイローゼにならないように日々の会話は大切にしています。それに会社が自宅から、三十分圏内と比較的に近いので何かあれば帰って来ることも出来ますので、その辺は助かっています。【山中】うちも妻との会話は大切にしています。特に共働きなので尚更ですね。こどもとのコミュニケーションは、主に休みの日にこどもが起こしに来るところから始まりますね。でも、これがちよつと嬉しいですね。【司会】いろいろと皆さんにご家庭での会話

## 家族とのコミュニケーション

【豊田】自分の場合、夜の付き合ひ等が多く、あまり家族との時間が取れないので、朝になるべく顔を合わせ会話が出来るようにしています。と言いますのも私が会社の代表ということもあり、いつ外から連絡が入るか分からないですから、なるべく妻には家に居てもうようお願いします。そんな中、こどもが小学生になると奥さん同士での会話というかコミュニケーションも密になり、そこから得る情報も多く、重要になっていきます。そういうところで、妻との会話を大切にしていますね。

特に今日一日何があつたかなど仕事の報告を私の方からする反面、妻からはこどもたちの学校の様子などを話聞かせてくれます。



山中 亨人さん  
地方公務員  
(32歳)  
一児の父

や日々のお手伝いについてお聞きしてきましたが、皆さんはこどもたちになんて話聞かせてくれるのでしょうか。【後関】こどもはこどもで自由に思うように育ってほしいです。その為には、こちらから一だこ押し付けられるのではなく、自然に見守つていこうと思つています。



それから、こどもには地域のイベントなどに積極的に参加してコミュニケーションをとり、学校以外の友達を多く作ってほしいですね。自分も消防団等いろいろとやっているのでなるべく連れて行こうと思つています。【豊田】自分の人生を思い浮かべ、そしてそれに自分から向かって行けるような子に育ってほしいですね。そういうお金ならきちんと出してあげたいです。そして、仕事も頑張らないで。



る事は災害弱者の方々を助きたい、助けられるようになりたいということ。また、小学校・中学校での生徒を対象とした救命講習も大切なかなと常々感じていました。こどもから、野球部とか他の運動部で部活中に倒れた人がいると聞いたことがありますが。このような時に、講習を受けていて初歩的なことが分ければ後遺症等についても軽くすむと思つてですね。【自分達の仲間自分達で救うんだ！】という気持ちを持つようにさせていきたいと思つています。

## ③これからの活動計画みたいなものは何かお考えですか？

今回、女性部は部長を筆頭に一班五人の二班制で活動していくことになると思つています。そして、みんなで考えて、みんなで意見を出して、みんなで進んで行ける。そんな、女性部にしてほしいと思います。女性の目を見た、あたたかい視点で活動をしていきたいと思つていますので、どうぞ私達を見守ってください。



鎌ヶ谷市消防団  
女性部発足に際して  
班長 豊島 美千子さん

【応募のきっかけ】私が今回、この鎌ヶ谷市消防団女性部に応募したきっかけは、大きく分けて二つあります。まず一つ目は、自分が生まれ育つた鎌ヶ谷市が好きで、少しでも鎌ヶ谷に貢献出来たらと以前から考えていたこと。二つ目は、東日本大震災を筆頭に「二」数年大きな災害が頻繁に起きており、そんな災害時に災害弱者の方々には何か手助けが出来ないかと、普段から考えていましたので応募しました。【2消防団はボランティアでの活動ですが、普段は何かお仕事はされていますか？】はい、今は「老人福祉施設と初富小学校の給食室」で働いています。東日本大震災が起きたときも施設で勤務しておりました。今回消防団女性部に入って私が目指してい